

事前評価個表

整理番号	2
------	---

地域（地区）名	あばしりとうぶ 網走東部	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	北海道	対象市町村	きたみ 北見市ほか 10 市町
事業実施期間	R3 年度～R7 年度（5 年間）	事業実施主体	道、市町、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は北海道北東部に位置し、オホーツク海沿岸部には平地が多く、西部に北見山地、南部から東部にかけては阿寒、知床連山を源として、網走川・常呂川等の河川が北見盆地等の平野部を経てオホーツク海に注いでいる。</p> <p>本地区の総面積595千haのうち、森林面積は389千ha（森林率65%）となっている。このうち、民有林における人工林の面積は75千ha（人工林率51%）で、トドマツが30%、カラマツが53%を占めており、齢級構成はⅧ齢級以上が61%と利用期を迎えており、今後、伐採量の増加が見込まれている。</p> <p>また、本地区内の林道延長は 674 千mで、公道等を含む林内道路密度は 19.1m/ha となっており、このほかに林道の支派線として森林作業道が整備されている。</p> <p>本地区内の民有林人工林のうち 29 千 ha（人工林の 39%）がⅦ齢級以下で、適正な保育・間伐を必要とする林齢にあるが、高齢化や後継者不足により森林所有者の森林施業への意欲減退や、造林事業の担い手不足により、手入れが不十分な森林の増加や伐採後の更新が滞ることが懸念されている。</p> <p>このため、森林のもつ水源涵養や土砂流出防止等の公益的機能の高度な発揮の維持増進を目指し、網走東部地域森林環境保全整備事業計画を作成し、これに基づく森林整備及び路網整備を実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：35,901 ha</p> <p style="padding-left: 40px;">人工造林、樹下植栽等、下刈り、枝打ち、除伐、保育間伐、間伐、更新伐等</p> <p>路網整備：林道開設及び改良 延長 780m</p> <p>総事業費：10,291,027 千円（税抜き 9,355,479 千円）</p>
費用便益分析結果	<p>$B/C = 3.60$</p> <p>（総便益（B）=58,719,025 千円、総費用（C）=16,307,968 千円）</p>
評価結果	<p>必要性：利用期を迎えている森林を多く保有し、今後主伐後の更新や適正な保育・間伐が求められる地域であり、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性：費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</p> <p>有効性：水源涵養や土砂流出防止等の公益的機能の高度な発揮の維持増進を図るため、適正な保育・間伐等の森林整備の実施及びそれに必要な基盤整備として路網の整備を実施する事業であり、有効性が認められる。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

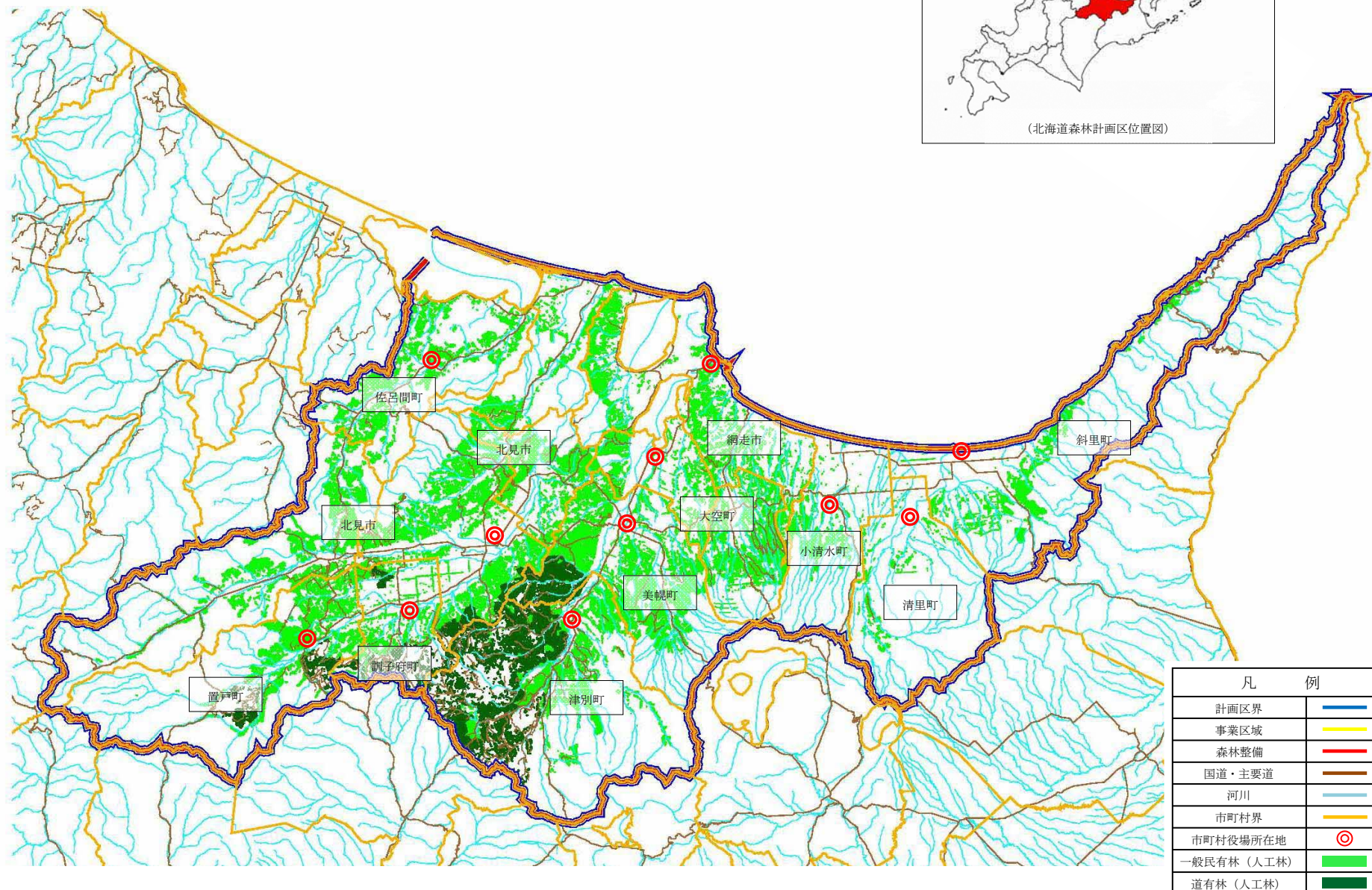
都道府県名：北海道

地域(地区)名：網走東部あほしりとうぶ

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 <small>かん</small> 便益	洪水防止便益	12,587,795	
	流域貯水便益	3,122,850	
	水質浄化便益	11,307,460	
山地保全便益	土砂流出防止便益	17,707,320	
環境保全便益	炭素固定便益	6,385,812	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	7,546,690	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	61,098	
総 便 益 (B)		58,719,025	
総 費 用 (C)		16,307,968	
費用便益比	$B \div C = \frac{58,719,025}{16,307,968} = 3.60$		

森林環境保全整備事業 網走東部（北海道）



凡 例	
計画区界	
事業区域	
森林整備	
国道・主要道	
河川	
市町村界	
市町村役場所在地	
一般民有林（人工林）	
道有林（人工林）	